

南空知4町地域連携ビジョン

(平成29年3月 ローリング版)

平成28年3月

南幌町・由仁町・長沼町・栗山町

南空知4町地域連携ビジョン

平成28年3月10日策定

平成29年3月8日改定

1 連携地域の名称及び構成市町村

(1) 連携地域の名称

南空知4町連携地域

(2) 構成市町村

南幌町、由仁町、長沼町、栗山町

2 南空知4町地域連携ビジョンの取組期間

平成27年度から平成31年度までの5年間とし、毎年度所要の見直しを行う。

3 連携地域の将来像

(課題)

南空知4町連携地域は、北海道の中央部より西方に位置する空知総合振興局管内の最南端に位置しており、札幌市、北広島市、恵庭市、千歳市、江別市などの都市に隣接するとともに、北海道の空の玄関口である新千歳空港にも近いことから、首都圏等をはじめ、国内外とのアクセスも良好な地域である。

また、基幹産業は、肥沃な石狩平野の恵みを楽しむ農業で、近年では、その農業を活用したグリーンツーリズム、ファームトリップなどの観光も盛んになってきており、今後の発展に向けて大きな可能性を持った地域である。

しかしながら、首都圏等でのイベントの際には、各町がそれぞれ単独で食・観光・プロモーション施策等の取組を推進してきたところであるが、各町の知名度の低さ及びPR不足などにより、大きな効果が得られていない状況にある。

南空知4町連携地域の人口の推計では、全国、全道を大幅に上回る人口減少率となっており、こうした状況が今後一層進むと考えられるため、早急に対応していく必要があるが、各町単独では、人口減や財政状況などによる職員数の削減が進んでいることから、地域全体でスケールメリットを活かした取組が必要となっている。

南空知4町連携地域の人口の推移及び推計

(単位：人、%)

	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2015-2040増減率
南幌町	5,661	9,020	9,792	9,520	8,778	7,930	7,481	6,882	6,296	5,728	5,143	△36.3%
由仁町	7,809	7,250	6,910	6,465	5,896	5,316	4,971	4,509	4,060	3,641	3,245	△40.2%
長沼町	12,282	12,293	12,452	12,386	11,691	11,088	10,565	9,934	9,299	8,661	8,004	△28.2%
栗山町	16,101	15,604	14,836	14,336	13,331	12,354	11,522	10,601	9,687	8,799	7,942	△36.0%

(参考) 全国 △15.3% (2015年：12,660万人 ⇒ 2040年：10,727万人)

全道 △21.8% (2015年：536.1万人 ⇒ 2040年：419.0万人)

※2015年までは国勢調査による人口で、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所による人口推計

(目指す姿)

本連携地域における南幌町、由仁町、長沼町、栗山町では、人口減少社会の本格化に対応するため、地域の特色ある取組を互いに連携して、積極的に推進していくこととします。

具体的には、南空知4町連携地域協定においては、生活機能の強化に係る政策分野として産業振興、そして、結びつきやネットワークの強化に係る政策分野として職員研修を連携項目としました。

南空知4町連携地域では、4町が互いに連携しながら、これらの施策を、国や道をはじめ、産官学金労言など、様々な主体とともに、積極的かつ戦略的に進めることで、圏域内で経済の好循環が起こり、そこに住む人々が元気で楽しく、安心して長く暮らせ、住むことが誇りとなる地域となること（地域のブランド化）を目指します。

4 地域連携協定に基づき推進する取組

(1) 生活機能の強化に係る具体的取組

ア 産業振興

(ア) 南空知4町知名度向上推進事業

〈協定の内容〉

都市部での知名度向上を図るために、南空知4町における地域資源を生かした各町連携による総合的な広域戦略づくりを展開する。

〈具体的取組〉

【平成27年度】

事業内容	<p>本地域においては、各町がそれぞれ単独で食・観光・プロモーション施策等の取組を推進してきたところであるが、各町の知名度の低さ及びPR不足などにより、大きな効果が得られていない状況にある。</p> <p>今後、人口減少の抑制や交流人口の拡大を図るためには、首都圏や札幌圏などの大都市圏での知名度の向上が重要であり、南空知4町の連携による総合的な広域戦略づくりを展開していく必要がある。</p> <p>民間放送や航空会社を活用したプロモーション事業のほか、広域PRポスター及び観光パンフレットの作成などを複合的に実施することにより、総合的なプロモーション展開を図り、効率的かつ効果的に南空知4町の知名度向上を図る。</p> <p>この取組を契機に、南空知4町としても、さらなる発展のために、今後、より一層、観光担当課をはじめとした町全体としての連携を深めていくこととする。</p>
事業効果	<p>南空知4町は、札幌市などの都市に隣接するとともに、新千歳空港にも近いことから、首都圏等をはじめ、国内外とのアクセスが良好な地域にある。</p> <p>このことから、本地域の立地特性やまちの魅力などの各種情報を積極的に発信することにより、南空知4町における知名度の向上、さらには首都圏や札幌圏、海外等からの交流人口の拡大、移住・定住の促進等が図られ、地域の活性化及び人口減少の抑制の繋がりに期待される。</p> <p>また、来道の際には、本地域に立ち寄る気運を高め、各町の素晴らしさを実感していただくことにより、リピーターの確立を図っていく。</p>
役割分担	<p>【担当町の役割】</p> <ul style="list-style-type: none">・全体調整及び総合窓口は由仁町・民間事業者、各町及び関係団体との企画調整等総合業務・各町における重点施策や各種情報の集約業務 <p>【担当町以外の役割】</p> <ul style="list-style-type: none">・圏域連携による観光や事業等のプロモーション活動の実施・映像及び冊子作成等に伴う取材、情報提供などの各種調整業務・各町における重点施策や各種情報の共有

【平成 28 年度】

<p>事業内容</p>	<p>平成 27 年度は、単独町名とともに「南空知」という地域名の知名度の全国的な向上を目指し、地上波・BS テレビ番組の制作・放送や、航空会社における機内誌掲載・特産品のサンプル提供、地域観光パンフレット・ポスターの作成・配布を行った。</p> <p>平成 28 年度は、知名度が重要な要素となっている「観光」と「移住・定住」それぞれの方向性を具体化する取組を展開する。</p> <p>具体的には、南空知 4 町における食や自然、温泉等の地域資源への観光客増を目指すことを目的として取組を行う「サイクル観光」と平成 27 年度に当該連携で制作したテレビ番組やポスター・パンフレットを活用した移住フェア等への共同参加や体験モニターツアー等の開催を実施し、圏域一体となった「移住・定住」促進に係る取組を行う。</p>					
<p>事業効果</p>	<p>サイクル観光について、今年度は次年度以降の取組に向けて環境整備をしたところであるが、健康増進や環境配慮の観点のほかに、移動速度が車に比べて遅いため、その町への滞在時間も長く、それにより、普段気付かない景色やお店の新発見、休憩の際の飲食等による経済効果、そして、サイクル途中の SNS による情報発信により南空知 4 町が北海道における先駆的なサイクルの地として広まることが期待され、将来的には国内だけでなくアジア圏等も含めた海外のサイクル観光によるインバウンドの増加や、知名度向上につながることを期待される。</p> <p>また、移住・定住に係る取組について、南空知 4 町の同じような地域柄の中で共同により移住定住対策を行うことは、産業や地域の特性も共通する点が多くあることから有効といえ、移住を希望する側の選択肢も広がり、4 町が移住候補地の一つとして選択される可能性が高まり、移住・定住の促進等が図られ、地域の活性化及び人口減少の抑制の繋がりに期待される場所である。</p>					
<p>役割分担</p>	<p>【担当町の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体調整及び総合窓口は由仁町 ・委託業者、各町及び関係団体との企画調整等総合業務 ・各町における観光や移住定住等に関する各種情報の集約業務 <p>【担当町以外の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域連携による移住定住促進事業の共同実施 ・委託業者等による取材、情報提供などの各種調整業務 ・各町における観光や移住定住等に関する各種情報の共有 					
<p>指 標 [平成 31 年度まで]</p>	<p>①地域内観光入込客数 5%増 (H26 : 1,857,800 人 H27:1,907,000 人) ※「北海道観光入込客数調査報告書」北海道経済部観光局</p> <p>②移住世帯数 100 世帯</p>					
<p>事業費見込額 (単位：千円)</p>	<p>H27 19,640</p>	<p>H28 19,600</p>	<p>H29 19,600</p>	<p>H30 2,000</p>	<p>H31 2,000</p>	<p>計 62,840</p>

イ 事業費一覧

(単位：千円)

市町村名	H27	H28	H29	H30	H31
南幌町	4,910	4,900	4,900	500	500
由仁町	4,910	4,900	4,900	500	500
長沼町	4,910	4,900	4,900	500	500
栗山町	4,910	4,900	4,900	500	500
合計	19,640	19,600	19,600	2,000	2,000

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る具体的取組

ア 職員交流

(ア) 職員研修

〈協定の内容〉

外部講師を活用した研修や多様な行政サービスに的確に対応するため、専門性の高い研修を行うなど研修事業の充実を図る。

〈具体的取組〉

事業内容	<p>地方分権が進展するなか、行政に対する要望や期待は質・量ともに高まり、複雑多様化かつ高度化する行政需要に的確に対応していくためには、職員一人ひとりの能力を伸ばしていくことが不可欠とされる。</p> <p>このような状況下で、職員研修の重要性が従来に増して大きくなっており、4町の職員間による課題等を共有し連携を深めていくことで、人口減少下においても、今後もより良い行政サービスを持続的に提供するために、職員研修が必要とされる場所である。</p> <p>本事業により、外部講師を活用した研修や多様な行政サービスに的確に対応するため、専門性の高い研修を行うなど研修事業の充実を図っていく。</p>
事業効果	<p>研修機会の確保や研修メニューの充実により、専門的な研修を受講することができるほか、4町による職員交流の促進、職員の意識向上、情報共有の推進を図ることができる。</p> <p>また、職員の柔軟な企画力や創造力を養う取組について、4町で情報共有等を行うことにより、地域課題や行政課題に対応する職員の能力を高めるだけでなく、広域連携を促す基礎になり、行政サービスの効率的な提供を図ることができる。</p> <p>さらには、各町技術職員不足による技術継承が厳しい現状にあることから、技術職など専門分野の職員の育成を目指すための研修を実施し、それにより、今後も円滑な取組及び運営が可能となる。</p>



役割分担	【担当町の役割】 研修テーマ、講師の選定・依頼、各町との総合調整 【担当町以外の役割】 研修会への参加派遣、各種情報の共有等の業務					
指 標	職員研修参加人数 [全職員の参加]					
事業費見込額 (単位：千円)	H27	H28	H29	H30	H31	計
	360	400	400	400	400	1,960



イ 事業費一覧

(単位：千円)

市町村名	H27	H28	H29	H30	H31
南 幌 町	90	100	100	100	100
由 仁 町	90	100	100	100	100
長 沼 町	90	100	100	100	100
栗 山 町	90	100	100	100	100
合 計	360	400	400	400	400

5 連携地域の概況

 <p>南幌町</p>	<p>人口：7,785人 (H29.1.1現在) 面積：81.36k㎡</p>	<p>【特産品・グルメ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○南幌キャベツキムチ ○なんぼろジンギスカン ○南幌彗星（日本酒、焼酎） ○ピュアホワイト（ホワイトコーン）
<p>南幌町は、夕張川、千歳川、旧夕張川に囲まれ、平坦な地形に広がる水田と防風林に沈む夕日が美しい田園風景のある緑豊かな町です。</p> <p>基幹産業の水田農業は、スケールメリットを生かした先進的農業が展開されており、近年は転作作物のホワイトコーン、ピュアホワイトの産地としても認知されています。</p> <p>また、札幌都市圏に隣接し、大規模な住宅団地や工業団地があり、これまでに多くの人に移り住んでおり、企業誘致にも積極的に取り組んでいます。</p> <p>中心市街地はコンパクトに形成され、町民の皆さんとの協働による、一人ひとりの顔が見えるまちづくりを進めています。</p>		<p>【観光名所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○南幌温泉ハート&ハート ○三重湖公園 ○リバーサイド公園 ○旧幌向駅通所（登録有形文化財）
		
		<p>[三重湖公園]</p>

 <p>由仁町</p>	<p>人口：5,368人 (H29.1.1現在) 面積：133.74k㎡</p>	<p>【特産品・グルメ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京ホルモン ○牛小屋のアイス ○原木しいたけ ○食用ほおずき ○マンモスイカ・メロン ○ゆにコーン
<p>由仁町は、札幌市や空の玄関新千歳空港など、主要都市へのアクセスに優れ、降雪量も少なく、北海道の中では比較的温暖で、緑豊かな田園風景の広がる安らぎのある町です。</p> <p>また、日本最大級の規模を誇るハーブガーデンをはじめ、人気の高い温泉施設や道内屈指のゴルフ場などを有し、四季折々にみられる自然豊かな表情は、由仁町に住む人々に笑顔と穏やかさを与えています。</p> <p>小さくてもキラリ、人が輝き、町が輝くために、町民の皆さんと行政とが手を取り合って協働のまちづくりを進め、まちづくりの質が問われる時代に適応した「ずっと住みたい、住んでよかった」と思えるまちを目指しています。</p>		<p>【観光名所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ゆにガーデン ○ユニニの湯 ○ゆめつく館 ○古山貯水池自然公園 ○伏見台展望台・公園
		
		<p>[ゆにガーデン]</p>



長沼町

人口：11,211人 (H28.12月末現在)
面積：168.52k㎡

道都 札幌市から32km、空の玄関口 千歳市から28kmと都市近郊にありながら、豊かな自然と農村景観に気軽にふれあえる町です。

基幹産業は農業であり、安心・安全な農産物が豊富なことから、農産物直売所、地産地消に取り組むレストランや店舗には多くの方が訪れており、さらには、農業体験を通して農業と食育への理解を深めるグリーン・ツーリズム事業により都市と農村の交流を実践しております。

また、町民と行政の協働による、町民主役のまちづくりのため、目指す姿を「ひと・緑がかがやく 田園と交流のまち」と掲げ、「安全に安心して暮らせるまち」、「自然環境と調和したまち」、「来てみたい・住んでみたいまち」を目指し、取り組んでおります。

【特産品・グルメ】

- 新鮮野菜、米 ○ジンギスカン
- タやけトマト・ミックスジュース
- オニオンスープ ○どぶろく
- 長ネギドレッシング ○ワイン

【観光名所】

- 道の駅「マオイの丘公園」
- ながぬま温泉 ○ハイジ牧場
- マオイオートランド ○東庭園
- 馬追自然の森遊歩道 ○文学碑



[東庭園]



栗山町

人口：12,329人 (H29.1.1現在)
面積：203.93k㎡

栗山町は国蝶オオムラサキの北東限生息地とされる自然豊かな地域で、札幌市や新千歳空港、苫小牧港からそれぞれ車で約1時間の道央圏に位置しています。

まちの北西部では国道や鉄道が通る交通の拠点として中心市街地が形成され、道内各地からのアクセスの良さが魅力です。

基幹産業は農業で水稻や小麦をはじめ豊富な農産物が収穫されているほか、商業、工業もバランスよく発展しています。

まちづくりの合言葉を「ふるさとは栗山です。」とし、暮らしの本質的な豊かさに恵まれた、いつまでも住み続けたいと思えるまちを目指しています。

【特産品・グルメ】

- 北の錦まる田 ○日原メロン
- 栗まんじゅう、里の栗
- たがみラーメン
- 谷田の日本一きびだんご

【観光名所】

- 栗山公園 ○竜仙峡
- 小林酒造「北の錦」酒蔵群



[小林酒造「北の錦」]